



トロイ戦争

今から約三千二百年前の紀元前二二〇〇年ごろに起きたトロイ戦争は、古代ギリシャの吟遊詩人ホメロスが書いた叙事詩「イーリアス」の中に詳しい。この叙事詩を十九世紀シュリーマンが読んだ。これはホメロスの空想の物語ではなく史実だと確信し、発掘に成功したのがトロイ遺跡である。

〇〇年にかけての遺跡。一番新しい第九層は紀元前六十年前後の遺跡である。トロイ戦争当時の遺跡は紀元前一八〇〇年ごろから一二七五年までの第六層にあった。シュリーマンは発見した首飾りなどの宝はトロイ戦争当時の国王プリアモスのものと判断したが、宝物は第二層（紀元前二五〇〇年〜二二〇〇年）から出土しており、プリアモスのものではない。それにしても一カ所に九つの遺跡が重なっ

て存在するとは…。当時、トロイはエーゲ海に面し、南は地中海、北は黒海からマルマラ海とを結ぶ交通の要衝にあつたので、人々は三千年にわたって住み続けたのだろう。

ただ紀元後に人が住まなくなったのは、川が運ぶ土砂で地形が変化し、トロイは海岸から五*以上も内陸になったためと考えられる。

さて、トロイ戦争だが、ギリシャ・スパルタの王妃ヘレンとトロイの王子パリスが恋仲になり、ヘレンをトロイに連れ帰ったことに始まる。ギリシャ連合軍は王妃を奪還するた

めトロイを攻め、争いは十年も続いた。二〇〇四年に製作されたウォルフガング・ペーターゼン監督の映画「トロイ」は叙事詩イーリアスにもとづき、トロイ戦争を描いたものでご覧になった人もいるだろう。ギリ

シャ軍最強の戦士ブラッド・ピット扮するアキレスとトロイの総大将ヘクトル（エリック・バナ）との戦いを中心に描かれている。従兄弟を殺されたアキレスが怒り狂い、一騎打ちでヘクトルを殺し、両足を戦車にしば



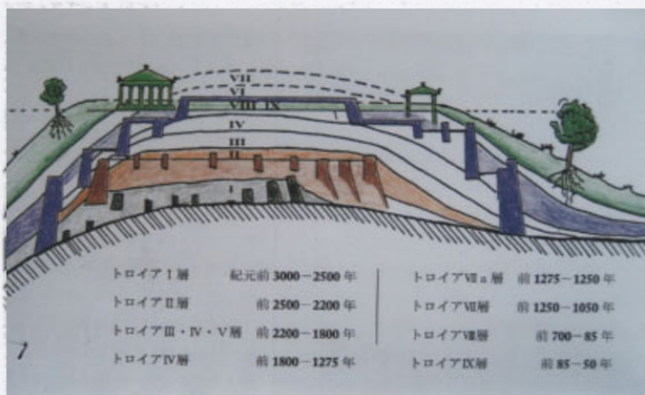
アキレスがヘクトルの遺体を引きずり回す
—ギリシャ神話とともに残された絵

り、遺体を引きずりながらギリシャ軍陣地に連れ去る。トロイ城内からこれを見守るプリアモス王やパリスタち。当時の騎士たちはなぜ名譽を重んじ、家族よりも後世に名を残すことを大切にしたらだろうかと考えさせられた。

結局、最強の戦士アキレスも、ヘクトルの弟パリスの弓で足首を射たれ、歩けなくなって殺され、トロイ王国も滅んだ。

レンタ
ルシヨッ
プで借り
て映画
「トロイ」
を妻と見
たが、賢
い妻いわ
く「この
ギリシャ
神話のア
キレスの
話から、
足首のと
ころをア
キレス腱
というよ

九層からなるトロイ遺跡の断面図



うになったのよね」
こっそり辞書で調べると確かにその通り。ギリシャ神話の人物名が私の体の一部の名前に使われているとは!! 改めて歴史の中に生きていることを痛感し、トロイ戦争はますます身近になる。

三千年の歴史を持つ遺跡を訪ね「生きる」ことについて考えさせられたのである。
(元山口放送取締役ラジオ局長)